

脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名

衆議院議長 横路孝弘 様
 参議院議長 西岡武夫 様
 内閣総理大臣 野田佳彦 様

請願者

名 前	住 所 (千葉県以外の方は二重線で消して県から書いてください)
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県
	千葉県

呼びかけ団体／呼びかけ人	取り扱い団体
「さようなら原発」一千万署名 市民の会 呼びかけ人 内橋克人 大江健三郎 落合恵子 鎌田慧 坂本龍一 澤地久枝 瀬戸内寂聴 辻井喬 鶴見俊輔 〒 101-0062 千代田区神田駿河台 3-2-11 総評会館 1階 原水禁気付 電話 03-5289-8224 FAX 03-5289-8223	生活クラブ生活協同組合千葉 〒 261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 電話 043-278-7671 (代表) FAX 043-279-7490

*いただいた署名は、政府ならびに国会へ提出する以外の目的では、使用いたしません。

*集約締切日 第2次…2011年11月末日 最終…2012年2月17日

脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名

趣旨

東京電力福島第一原子力発電所での連続爆発、炉心溶融（メルトダウン）事故によって、海も大気も大地も汚染され、これから被曝者が大量にでることが予想されます。

わたしたちは、広島、長崎被爆者の問題を未解決のまま、原発の被害者であり、加害者であるという立場にたたされました。

いまの子どもたちばかりか、まだ生まれてこない子どもたちにも、計り知れない悪影響を与えたとの不安に駆られています。人間は核とは共存できないのです。

父も母もきょうだいも、幼い子たちになにを食べさせ、どこへ避難させるべきか悩んでいます。答えはありません。わたしたちは未来の命のために、自然を傷つけ、エネルギーをあさって浪費する生活を見直し、あらゆる生物と共存する、「持続可能で平和な社会」を希求します。

まず、原発廃止に向けて政治のカジを切り、核エネルギー政策からの大転換を強く訴え、以下のことを要請します。

要請事項

1. 原子力発電所の新規計画を中止し、浜岡をはじめとした、既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施することを求めます。
2. もっとも危険なプルトニウムを利用する、高速増殖炉「もんじゅ」および核燃料再処理工場を運転せず、廃棄することを求めます。
3. 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えた、エネルギー政策への転換を早急に始めることを求めます。

最終

生活クラブ虹の街は、

脱原発、自然（再生可能）エネルギーへの政策転換を求め、署名活動を行っています。

署名の目標数は 35,000 筆。(11 月末現在 15,000 筆)

総組合員数は 39000 人（4 月現在）

組合員一人が一筆、さらに家族や地域の方たちにも署名の輪を広げましょう。

提出締切は **2 月 17 日（金）**（集約：本部組織部 荒川 まで）

We・I の組合員は配達便で、デポ一組合員はデポ一フロアへ